

2024年5月31日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、消費関連が回復し、観光関連がやや持ち直している。一方、投資関連、雇用情勢は横ばい、畜産関連が弱含み、生産活動が低調となっている。足元では、コロナ5類引き下げによる社会経済活動が再開し、全体として回復傾向が続いているものの、物価上昇の影響がみられる。

生産活動は、2月の鉱工業生産指数がほぼ前年並みとなった。電子部品・デバイス、電気・情報通信機械は前年を下回ったが、食料品、窯業・土石製品は前年を上回った。

畜産関連では、4月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5、去勢A4ともに前年を下回り、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場も前年を下回った。一方、豚肉は前年を上回った。

個人消費関連は、3月の乗用車新車登録台数、4月の軽自動車届出台数は前年を下回った。一方で、3月のコンビニエンスストア販売額はほぼ前年並み、3月の百貨店・スーパー販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額は前年を上回った。

観光関連では、4月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月ぶりに前年を上回り、前年宿泊療養施設だった先を含めると、3か月連続で前年を上回った。種子島・屋久島地区は4か月連続で前年を上回り、奄美地区は2か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額は前年を上回り、住宅着工戸数は前年を下回った。

雇用情勢は、3月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント下回る1.20倍となった。

【生産活動】... 低調

電子部品関連は、5G関連の需要が回復しない一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きもみられる。

3月の焼酎生産は、2か月ぶりに前年を上回り、出荷量は2か月連続で前年を下回った。

1月のかつお節生産は、16か月ぶりに前年を下回った。

4月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが8か月連続で前年を上回り、民間工事向けは7か月連続で前年を下回り、全体では3か月連続で前年を下回った。

4月の紙パルプ生産は、3か月ぶりに前年を下回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

【畜産関連】... 弱含み

4月の子牛の出荷頭数、価格ともに前年を下回った。4月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5が4.7%減で2か月連続で前年を下回り、去勢A4が7.0%減で2か月連続で前年を下回った。3月の枝肉生産量はほぼ前年並みとなった。

4月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は9.1%増と2か月ぶりに前年を上回った。3月の枝肉生産量は前年を下回った。

4月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は18.1%減と8か月連続で前年を下回り、むね肉は10.7%減と6か月連続で前年を下回った。4月の処理羽数は前年を上回った。

4月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は37.4%減と6か月連続で前年を下回った。3月の配合飼料価格は9か月連続で前年を下回った。

【消費関連】... 回復

3月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品は前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回り、全体では3か月連続で前年を上回った。

3月の専門量販店販売額は、コンビニエンスストアはほぼ前年並み、家電大型専門店、ドラッグストアは前年を上回った。

3月の乗用車新車登録台数は、3か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は2.2%増、小型車が42.0%減となった。

4月の軽自動車届出台数は5か月連続で前年を下回った。一部メーカーの認証不正による出荷停止の影響があった。

【観光関連】... やや持ち直し

4月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月ぶりに前年を上回った。関西、関東、香港、中国などからの入り込みや団体客が増加した。また、前年鹿児島地区の宿泊療養施設だった先を含めると、3か月連続で前年を上回った。

鹿児島地区は、中国、香港などからの入り込みや個人客が増加し、2か月ぶりに前年を上回った。また、前年宿泊療養施設だった先を含めると、3か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、関東、中国地方などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、5か月ぶりに前年を上回った。

指宿地区は、関西、関東、台湾、香港などからの入り込みや団体客が増加し、3か月ぶりに前年を上回った。

種子島・屋久島地区は4か月連続で前年を上回り、奄美地区は2か月連続で前年を下回った。

4月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

【投資関連】... 横ばい

4月の公共工事は、件数は前年をやや下回り、請負金額は前年を上回った。

3月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額のいずれも前年を上回った。

3月の新設住宅着工戸数は、持家が前年を上回り、貸家が前年をやや上回ったものの、分譲が前年を下回り、全体では2か月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均はほぼ前年並みとなった。

4月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、6か月ぶりに前年を下回った。

【貿易関連】... 輸出額、輸入額ともに前年を上回った

3月の輸出額は、木材が前年を下回ったものの、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物が前年を上回り、全体では9.6%増と6か月連続で前年を上回った。輸入額は、穀物及び同調製品が前年を下回ったものの、原油及び粗油が前年を上回り、全体で37.5%増と2か月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】... 横ばい

3月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント下回る1.20倍となった。県内求人数を業種別にみると、建設業は前年並み、製造業、卸小売、医療・福祉は前年を下回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

2月の県内金融機関の貸出金残高は前年を0.9%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を下回った

4月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が2件で前年同月（6件）を3か月連続で下回った。また、負債総額は1億72百万円で前年同月（4億75百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel. 099-225-7491)